

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度第2回相模原市市民協働推進審議会				
事務局 (担当課)		市民協働推進課 電話042-769-9225(直通)				
開催日時		令和2年11月26日(木) 午後6時~午後7時				
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	13人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	7人(市民局次長、市民協働推進課長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		市の機関における審議であって、公開することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が損なわれるおそれがあるため。				
会議次第		<p>1 開 会</p> <p>2 議 題 (1) 協働事業提案制度事業の審査結果等について【非公開】 (2) 第2次市民協働推進基本計画の進行管理方法について (3) その他</p> <p>3 閉 会</p>				

## 1 開 会

定足数及び傍聴者の確認を行い、第2回会議が開催された。

主な内容は次のとおり。

( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言 )

会議の公開・非公開について

議題(1)協働事業提案制度事業の審査結果等に関する審議については、公開することにより率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから、非公開とすることで決定した。

## 2 議 題

## (1) 協働事業提案制度事業の審査結果等について

協働事業提案制度事業審査作業部会員及び事務局から、令和2年度新規協働事業提案及び継続協働事業の審査結果について報告した後、質疑応答及び審議を行い、報告結果を答申とすることが承認された。

## (2) 第2次市民協働推進基本計画の進行管理方法について

事務局より資料に基づき説明を行った。主な意見等は以下のとおり。

## 【主な意見等】

成果指標を設定していない取組の評価については、どのように評価をするのか。行政が使用する一次評価シートでは、成果指標を設定していない取組についても、当該年度に実施した内容を記載するようにしている。そこに新しく取り組んだことや工夫した取組などがあれば、その内容を評価していくイメージである。新しい進行管理方法については、実際に評価をしてみないと分からないところもある。成果指標の設定されていない取組については、それぞれの取組の内容をみていくしかないのではないかと。

進行管理においては、実行する際の進行管理が大事ではないかと。

新規の取組などを実行する際には、本審議会にご意見等を伺いながら進めていきたいと考える。

行政による一次評価をしっかりと行い、審議会による二次評価につなげてもらいたい。

○本日の審議会での意見等を踏まえて、第2次市民協働推進基本計画の進行管理を着実に進めていきたい。

## (3) その他

- ・協働ニュース（創刊号）の発行について

第2次市民協働推進基本計画に位置付けた新規の取組の一つで、11月に創刊号を発行したことを報告した。

- ・協働事業提案制度の公開プレゼンテーション及び中間ヒアリングの動画公開について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、本年度の公開プレゼンテーション及び中間ヒアリングは、当日の傍聴を受け付けず、録画した動画を市ホームページ（さがみはらチャンネル）に公開していることを報告した。

### 3 閉 会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

## 相模原市市民協働推進審議会 委員名簿

(令和2年11月26日開催)

	氏名	現職	備考	出欠
1	牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部 教授	会長	出席
2	中村 律子	法政大学 現代福祉学部 教授		出席
3	妻鹿 ふみ子	東海大学 健康学部 教授		出席
4	山岸 絵美理	大月市立大月短期大学 准教授		出席
5	数野 博久	公募委員		出席
6	前田 誠一	公募委員		出席
7	青木 庸江	相模原商工会議所 女性会会長		出席
8	石川 壽々子	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事		出席
9	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会 会長		出席
10	桐戸 初生	相模原市公民館連絡協議会 副会長		出席
11	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 会長	副会長	出席
12	西本 敬	特定非営利活動法人 さがみはら市民会議 代表理事		欠席
13	畠山 昇	特定非営利活動法人 市民フォーラムさがみはら 代表理事		出席
14	八木 さやか	公益社団法人 相模原青年会議所		欠席
15	米山 敦子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 副代表理事		出席